

平成24年度夏のエコスタイルチャレンジ 取組項目ごとの「具体的取り組み内容」

(業種分野ごと順不同)

7 独自の取組み	
医療、福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・6/21・7/7「ライトダウンジャパン2012」参加 ・社内にエコアクション21推進チームを設置し取り組み状況や結果をチェックする会議を実施。 ・グリーン購入・エコキャップ運動の実施。 ・退席時にパソコンの電源を落とす。
運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー・エコドライブの徹底
卸売・小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ10の継続実施 ・照明の間引き点灯を実施する ・グリーンカーテン ・看板灯・外灯の消灯 ・エアコンON時はサービス入り口の2重ドアを閉め、事務所内の冷気を逃がさない ・エアコンOFF時はショールーム事務所の窓を開け空気の入替えをする。 ・パソコン画面の消灯 ・節水を心がける ・温度計を設置して温度管理する。 ・グリーンカーテン ・安全運転・エコ運転の推進 ・各電源スイッチへ節電を促すシール貼りつけし、節電意識を高める。 ・ノー残業デーの実施 ・昼の消灯 ・ブラインドの活用 ・産業廃棄物から紙類分別 ・ハンドドライヤーや電気ポットなど、廃止 ・自販機のタイマー設定 ・トイレエアータオルは、社員は、使用しない。 ・ショールームテーブルの上に団扇を置く ・暑い日に工場前やショールーム周りに水まきにて、温度を下げる。 ・すだれの使用 ・冷却関連グッズ用品(個人負担) ・紙コップの使用をやめて、マイコップを持参・使用
金融・保険業	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ ・エレベーターの使用を控える ・各施設に「節電行動計画書」を策定させ、施設ごとに可能な節電アクションを確認。社員への節電の啓発を図り、有益な取り組みについてノウハウは社内内で共有する。 ・本社ビル内のエレベーター3台の内1台停止
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ、エコドライブ、安全運転の教育実施(年2回以上) ・環境(省エネ・ゴミ削減)のための社員教育スローガン募集と優秀作品の表彰、掲示 ・公共機関に訪庁の際はエレベーターの使用を極力自粛する ・緑のカーテン ・すだれの使用 ・ガラス遮光フィルムを貼る ・ゴミ分別の徹底と削減(コピー用紙・段ボール等の紙類はリサイクルセンターへ) ・節水・節ガス ・BDF天ぷら油の回収 ・エコキャップの回収 ・環境教育資料の発行 ・省燃費運転の実施 ・チャレンジ25の参加 ・自転車通勤の推進 ・ノー残業デーの実施 ・コピー用紙の消滅 ・不要用紙の再利用
鉱業	<ul style="list-style-type: none"> ・井戸水の活用

平成24年度夏のエコスタイルチャレンジ 取組項目ごとの「具体的取り組み内容」

(業種分野ごと順不同)

7 独自の取組み	
サービス業	・緑のカーテン
	・紙使用量の削減 有効なりサイクル
	・燃料使用量の削減 省エネ運転奨励
	・会社の窓口に「節電中」「節電営業中」のポスターを貼り、社内外の人に理解してもらう。
	・応接室は、お客様が来てからエアコンをつける。
	・ノー残業デーの実施
	・扇風機の適時使用
	・自動販売機は勤務時間外は電源を停止する。
	・事務室照明器具の3割以上を間引き消灯
	・電気ポット、トイレのジェットタオル使用停止
	・窓16枚にビニール梱包材(プチプチ)を貼り付け、放射熱による室内の温度上昇を軽減する。
	・照明の間引きと昼休み・業務終了後の一斉消灯
	・退社時にOA機器のプラグ抜き
	・便座暖房の温度低め設定
	・外灯の停止
	・照明器具にプルスイッチを取り付けて在席時のみ点灯し、こまめに消灯する。
	・休憩時に冷やした「おしぼり」を使用する。
	・休憩時の飲み物は、保温容器を使用し、電力を節約する。
	・窓の2重サッシ取り付け
	・お客様のところで使用させていただく水・電気等は節約に心がける
・お客様のところで使用させていただくエネルギー等は、節約に心がける	
・社内での給食弁当は割り箸辞退でマイ箸を使用	
・打水	
情報通信業	・カットワンシステム(減灯システム)導入
	・エコアクションポイントの実施
	・タスク対抗「エココンペ」実施
	・エコ製品の購入
	・エコバッグを持つ
製造業	・グリーンカーテンの設置
	・回収溶剤の燃料化
	・よしず設置
	・電力監視システムの有効活用による全館デマンド制御の実施
	・ライトダウンキャンペーンへ等の参加(看板の照明の消灯)
	・夏の電力削減活動「夏電12」の推進 (会社の節電全体活動としてありとあらゆる節電に挑戦することで徹底した総原価低減に結びつけ活動。)
	・「エコチャレンジポイントラリー」 (家庭における環境活動をポイント化し、節電活動及び省エネ活動に取り組む)
	・エアコンフィルター、室外機の清掃及び室外機の冷却による冷房負荷の低減
	・生産性の向上・歩留りの向上による設備稼働時間の短縮
	・LED電球PR
	・すだれの使用
	・コンプレッサーエアー漏れのチェック・修繕
	・定時退社日設定
	・冷凍ストッカーの使用禁止
	・社有林およびケナフ圃場の育成管理
	・生産部門及び食堂等において節水の周知
	・「花いっぱい運動」委員会にて活動
	・扇風機の活用
・節電アイデア募集し、対応	
・ガラス窓への断熱フィルム対応	
・会議室使用の制限	

平成24年度夏のエコスタイルチャレンジ 取組項目ごとの「具体的取り組み内容」

(業種分野ごと順不同)

7 独自の取組み			
	<ul style="list-style-type: none"> ・冬に蓄積させた雪室を利用した節電の取組み ・窓の外の遮光ネット ・社員による家庭の節電コンテスト実施 ・環境ニュースを1回/月発行し、自社各部門とサプライヤーに配信 ・空調屋外機のフィンにキリを散布し冷却効果を向上する。 ・屋上緑化による建物温度上昇を抑制 ・全ての窓の2重サッシ化 ・クリーン作戦実施（ごみ拾いとカーブミラー清掃） ・ベース電力の低減活動（生産に影響しない「固定電力」のムダを洗い出し、事業場全体で電力量削減に取り組む。） 		
	団体	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネキャンペーンを実施 ・ノー残業デー ・ブラインドの活用 ・各社員の家庭での節電節水協力 ・窓のガラス面にシールを貼り、外温、内温を極力遮断。 ・グリーンカーテンの取組み ・エレベーター使用の自粛 ・電子メールの活用や両面印刷による書類の減 ・マイ箸、マイバックの推進 ・事務室等の整理整頓 ・公用車の運転に当たり、不要なアイドリングや急発進・急加速をしない優しい運転を行う。 ・昼休み時間帯の消灯 ・待機電力の削減 ・市民向けに、ゴーヤの苗を配布し緑のカーテンの普及促進。 ・広報誌やHP上でクールビズや節電の啓発。 ・トイレの温風タオル使用禁止 ・冷蔵庫弱設定 	
		電気 ガス 熱供給 水道業	<ul style="list-style-type: none"> ・6月を環境月間とし各種活動を全社大で展開 ・ポスター、メールによる周知徹底 ・運転時間の短縮 ・昼休みの原則運転停止 ・蛍光灯の間引き ・終業時の一斉消灯およびその後の使用箇所のみでの再点灯を徹底 ・便座暖房の停止 ・自動販売機の照明消灯 ・10時以降の電気ポット、コーヒーメーカー等の原則使用停止 ・休憩時間・帰宅時等におけるパソコン等のプラグ抜きの徹底 ・パソコンの省エネモードの設定 ・エレベータ:社員は極力階段利用する